

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCAサイクルは、年2回のモニタリング後に行い職員間で共有しています。
	⑤	保護者等向け利用者評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年保護者アンケートを実施し、運営や業務の改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年北の大地のホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三社による外部評価は行っていません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ禍で研修は主にリモートで行われることが多いので、リモート研修に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			コロナ感染防止の為、保護者と電話でのモニタリングを行い、アセスメントを確認し、計画書の作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメント表を利用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員内で話し合い、計画しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な経験ができるように活動内容を工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			細かい課題の設定を行うというよりは、活動内容に変化をもたせたり、個人の利用時間に合わせた活動をしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個人の状況に応じて活動内容を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の利用者と人数、送迎の担当、支援と個別の対応についての確認などを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その都度情報を共有し、記録に残しています。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動日誌や個人の記録などを用いて検証と改善をしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回の前期と後期に保護者へのモニタリングを行い、支援計画の評価と見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			創作活動や自立支援を組み合わせる支援を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			コロナ禍において、サービス担当者会議が行われていない状況ですが、電話での情報の共有は行っています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校とは送迎時の引継ぎや、必要な場合は電話や文書などで情報の共有や確認を行っているが、十分な共有や協力が得られない学校もあります。送迎時間の間違いが発生することがある為、学校のメールや時間割の確認に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			該当する利用者がいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			各関係機関と情報共有と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			今年度、該当者はいませんでしたが、必要に応じて情報は提供します。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		入所契約時に保護者の了承のもと、きらりから情報や助言等を受けていますが、入所後も継続して個人の相談や助言を受けることはしていません。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ感染予防の為、交流会が行えない状況が続いています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	協議会が行われていません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の対面や、連絡帳、電話などを通して情報交換と共通理解に努めています。。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		必要に応じて、個別面談を行い相談や助言をすることはあっても、ペアレント・トレーニングを行うまでには至っていません。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更事項があった場合は、書面でお知らせしたり説明を行っています。
	㉛	保護者や家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談がない場合も必要に応じて、こちらから相談したり助言などの支援を行うことがあります。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		コロナ感染予防の為、保護者会が行えない状況が続いています。

保護者等への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けたことはありませんが、その場合には迅速で適切な対応を考えています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月発行している「ぼれぼれだより」で、行事予定や報告、お知らせなどを伝えています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い、写真の取り扱いなども保護者に確認を行っています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思の疎通や情報伝達が難しい場合は、絵カードを使用し視覚で訴えるなどの工夫をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			毎年社会福祉法人で開催している「北の大地まつり」への参加を呼び掛けていましたが、コロナ感染予防の為、中止している状況が続いています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時マニュアル、防犯マニュアルなどを改め、ご家庭に配布しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			あらゆる緊急事態を想定し、年2回の避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人で虐待防止委員会を設置しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			拘束が必要な該当者はいません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		食物アレルギーの有無は、契約時に保護者から聞き取りをし、どのような対応をするかを確認しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			必要時はヒヤリハットを作成し、事例について討議します。